

楽しく、体を
動かしましょう!

スポーツ教室のご案内



⑧初心者スポーツ教室 サッカー

対象 ①幼児(年中・年長)
②小学1・2年生
日時 4/3~R7/3/26の毎週水曜
①14時30分~15時30分
②16時~17時
場所 スポーツ広場(花畔337・3)、
サン・ビレッジいしかり(新港中央1・
701)
講師 石狩サッカー協会
持ち物 サッカーシューズ、動きやす
い服装
定員 ①20人 ②30人
費用 月1,000円、保険料800円
申込・問合せ 草島さん ☎64・1220

⑨初心者スポーツ教室 少林寺拳法

対象 幼児・小学生
日時 4/4~12/26の毎週木曜
16時30分~17時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 (公財)石狩市体育協会イン
ストラクター、石狩樽川スポーツ少年
団指導員
定員 10人(申込順)
申込・問合せ (公財)石狩市体育協会
☎64・1220
✉i-sports@crocus.ocn.ne.jp



④HIP HOPダンス教室(初級)

対象 市内に在住・通勤・通学する小
学3年生以上の方(大人も可)
日時 4/3~R7/3/19の毎週水曜
16時30分~17時30分
場所 サン・ビレッジいしかり(新港中
央1・701)
持ち物 動きやすい服装、上靴、飲み
物、タオル
定員 20人(申込順)

⑤フィットネス教室

有酸素運動で汗を流し、心身をリフ
レッシュします。
対象 市内に在住・通勤する方
日時 4/4~R7/3/13の毎週木曜
19時30分~20時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 フィットネスインストラクター
山田泰子氏、大嶋春香氏
持ち物 動きやすい服装、室内用運
動靴、飲み物、タオル
定員 35人(申込順)
費用 前期8,000円(4月~11月)
後期4,000円(12月~3月)

⑥ピラティス教室

対象 市内に在住・通勤する方
日時 ①4/4~R7/3/13の毎週木曜
10時~11時 ②4/2~R7/3/18の
毎週火曜18時30分~19時30分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 ①岸本亜弥子氏 ②工藤綾氏
持ち物 動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 各100人
費用 前期8,000円(4月~11月)
後期4,000円(12月~3月)

⑦ヨガ教室~ハタ・ヨガ~

対象 市内に在住・通勤する方
日時 4/2~R7/3/18の毎週火曜①10
時~11時 ②19時45分~20時45分
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
講師 ①岸本亜弥子氏 ②工藤綾氏
持ち物 動きやすい服装、飲み物、タオル
定員 各100人(申込順)
費用 前期8,000円(4月~11月)
後期4,000円(12月~3月)

①キッズスポーツクラブ

内容 体づくりやボールを使った運動
対象 市内在住の幼児(年長)
日時 4/2~R7/3/18の毎週火曜
15時30分~16時15分
※7・8月、祝日は休み
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
定員 30人(申込順)
費用 10,000円
申込期限 26(火)

②ジュニアスポーツクラブ

内容 体づくりやボールを使った運動
対象 市内の小学1・2年生
日時 4/2~12/24の毎週火曜
16時30分~17時15分
※7・8月、祝日は休み
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)
定員 30人(申込順)
費用 7,000円
申込期限 26(火)

③シニアスポーツクラブ

内容 筋力トレーニングや軽スポーツ、
有酸素運動など
対象 市内に在住・通勤する60歳以
上の方
日時 4/3~R7/3/19の毎週水曜
10時~11時 ※7・8月、祝日は休み
場所 B&G海洋センター(花畔337・4)、
緑苑台パークゴルフ場(緑苑台中央
3・602)
定員 80人(申込順)
費用 前期6,000円(4月~11月)
後期4,000円(12月~3月)
申込期限 22(金)

①~③共通事項

持ち物 動きやすい服装、飲み物
そのほか 参加同意書を提出
講師・申込・問合せ
(公財)石狩市
体育協会
☎64・1220



▲申込

④~⑦共通事項

申込・問合せ (公財)石狩市体育協会
☎64・1220 FAX 64・1222
✉i-sports@crocus.ocn.ne.jp



▲申込

縄文文化の 装身具①

—市内遺跡から出土した縄文中期頃の石製品—

縄文文化には、首飾り・耳飾り・腕輪・櫛などいろいろな装身具があります。石狩市内の縄文遺跡でも、これまでに垂飾や玉類などの装身具が出土しました。

写真1と2は、石狩紅葉山49号遺跡から出土した装身具で、縄文中期頃（約5千年～4千年前）とみられます。

写真1は琥珀製の垂飾です。透明感のある濃い赤褐色で、丸みのある三角形をしています。上方には孔が貫通し、ペンダントなどに用いたと考えられます。琥珀の原産地については諸説ありますが、この遺跡では小さな琥珀の原石も数多く出土しており、内陸（三笠など）の炭田地帯にある石炭層が川に削られ、その中に含まれる琥珀が下流や河口まで流されてきたのかもしれない。当時の人々がそれらを採集して装身具の素材に利用した可能性があります。

写真2は、玦状耳飾と呼ばれる石製装身具です。淡い緑灰色で（櫛岩か？）、扁平に磨いて仕上げられています。この出土品は約半分が失われていますが、他の遺跡から出土した類例から、もとは復元図のように平面が三角形で中央部にスリット

の入った形と考えられます。北海道では、これまでの出土品から三角形の玦状耳飾が縄文前期末葉から中期初頭頃にみられることが知られています。

写真2の玦状耳飾には、小さな孔が2カ所に開けられています。上の孔(a)は割れています。その位置から破損した耳飾りをつなぎ合わせるための補修孔の可能性が考えられます。一方、下の孔(b)は、その位置から補修孔ではなさそうです。耳飾りに何か装飾を付けるための小

孔でしょうか。あるいは、上の補修孔(a)が割れて耳飾りとして使えなくなつたため、新たに孔(b)を開けて別の装身具として再利用した可能性もありそうです。

これらの装身具を見ると、形や色に当時の人々の美意識が感じられ、数千年の時を経た現代の我々をも魅了します。（荒山千恵）

※「玦」は古代中国の軟玉製の装身具の一種で、ドーナツ状の一部に切れ目の入った形をしています。この形に似た石製品が日本列島の縄文遺跡で出土しており、「玦状耳飾」の名称で呼ばれています。

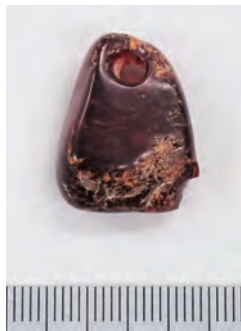


写真1 琥珀製垂飾
(縦の長さ2.2cm、厚さ 約1cm)



写真2 玦状耳飾(裏側より撮影)
(現存部の横幅約3.3cm、厚さ約0.4cm)



石狩市学芸員
荒山千恵 Chie Arayama

専門分野は考古学。遺跡の発掘調査をはじめ、出土した木の道具、音の考古学などの研究を行う。